

令和5年度 まちづくりビジョン検討委員会 会議録

令和6年2月29日(木) 17時00分～18時30分

(場所 大栄農村環境改善センター)

発言者	内 容
	<p>出席委員 永田清香 坂本浩憲 渡邊太 谷本晴彦 時枝大和 森星斗 小林敦子 池口小春 村岡めぐみ 金山英文 (敬称略) 事務局 中野課長 鹿島 宮川</p>
協議事項(1) 委員長、副委員長の決定	
	<p>委員長 渡邊 太さん (鳥取短期大学 国際文化交流学科 教授) 副委員長 金山英文さん (北栄町社会福祉協議会 事務局長)</p>
協議事項(2) 令和5年度(中間期)まちづくりビジョンの進捗状況の点検	
委員長	<p>協議事項(2)以降の進行を私の方で務めさせていただきます。 協議事項の2番、まちづくりビジョンの中間期の進捗状況の点検について、第1節から第3節までの説明をいただき、質疑をはさんで第4節から第6節の説明、質疑とします。事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>まちづくりビジョンの進捗状況について説明します。ご覧になられた方も多いと思いますが、まちづくりビジョンは北栄町の最上位の計画として、令和2年9月に 第2次 となる10年計画を策定しました。北栄町が様々な分野で定めた様々な計画も、このまちづくりビジョンの基本的な方向性に基づき、作られているということになります。いわば、大きな進路だとイメージしていただけるとつかみやすいのではないかと思います。</p> <p>ビジョンでは、『人と自然が共生し 確かな豊かさを実感するまち』を将来ビジョン(いわゆる10年後の将来像)として掲げ、10年間のまちづくりを、大きく6つの節からなる部門を設けて事業の展開をしています。</p> <p>これから、6つの節 ごとに進捗状況の説明をさせていただきながら、委員の皆さんの進捗状況に対する点検を頂きたいと思います。</p> <p>なお、皆さんにはビジョンに対する点検を頂きますが、その他の個別の計画に対するご意見や、今実施している個別の事業そのものに対する質問はご容赦頂きたいと思います。</p> <p>それと、ビジョンは10年先を見据えて KPI(重要業績評価指標)を設けています。この指標の是非についても、ビジョンの根幹にかかわることなので、将来的な要望としては承りますが、すぐすぐの修正は難しいことをご承知ください。</p> <p>ご意見をいただきたい部分としては、令和2、3、4の実績と令和5年度の中間の数値が出ておりますので、これらを見比べて R12 年度に向けた KPI の達成が現状で可能なのか、順調なのか、力を入れた方がいいのか、そういったところのご意見をいただければと思います。</p>

第1節 産業・観光の分野のまちづくり

農業の分野では事業に取り組んだ人数・件数を KPI にしています。単なる目標ではなく、目標を達成した先に、町民の豊かさや町の活気につながるか、魅力ある町になるか、といった視点で目標がつけられています。

農林業の振興です。

新規就農者の相談件数が中間期で延べ31件。令和4年度の実績が延べ100件だったことから、若干人数が減っています。ただ、令和12年の目標を鑑みると、中間期で31件という数値は悲嘆するものではないと考えます。また、資料には載っていませんが、今年度新たに農業を始めた人は、親元就農を含め現時点で11人。相談の約3分の1が就農している計算になります。

園芸産地活力事業とがんばる農家プランは補助事業に手上げをしていただく必要があり、また自己資金もかかるため、計画的な啓発や相談体制が求められます。

有害鳥獣防止柵は、1件を予定していましたが、その後取りやめで実績なしです。ちなみに整備されている場所は、曲自治会の山です。

次に、具体的施策の健全な森林をつくる～の項目ですが、森林経営管理面積ですが、目標の50ha に向けて若干の増加と、経営意向調査が実施されています。

また、抵抗性クロマツを広葉樹に変更しました。抵抗性クロマツも、成長に時間がかかり、松くい虫の被害も拡大していることから抵抗性クロマツよりも強い広葉樹に植樹転換しました。森林資源の保全が加速することを期待するものです。

次に商工業の振興です。

企業訪問や経営革新に関する計画認定件数は順調です。次の町内企業の増設は中間期までに0社です。毎年3社の計画なので、利用がないように思われますが、この奨励金を知らずに設備投資をされている会社もあるようです。事前に知っていただけるよう情報発信を強化する等の対策が必要だと感じています。

次の町内企業への公共事業受注割合は56%で昨年よりも上昇しています。

イクボス・ファミボス宣言の取り組みをしている企業は昨年よりも1社増えました。

事業承継では、昨年同様に相談会等を実施し、2社から相談を受けているということです。

次の町内起業者数・・・新たに事業を始めた会社や個人で町の創業支援事業を活用した数で、昨年同数の5社が起業しています。

また、商工会の加入者数は昨年から10社増加しました。

次に観光の振興です。

観光資源の活用で、ふるさと館の入館者数はコロナが5類に移行してから回復傾向にあります。

主要観光施設入込客数も回復してきています。また、その下の中部圏域の観光入込客数も増えています。中部全体で客の入りが戻ってきているということです。

道の駅「ほうじょう」については現在改修工事のため実績なしです。

第2節 教育・生涯学習・子育て・文化・スポーツ

第1項の未来を作る教育の推進で、まず、全国学力テストについては国、県の平均を下回っているものが多数です。

不登校児の出現については不確定の部分があるものの、県平均よりは下回っています。

次に地域を支える人材の育成で、社会をよくするために何をすべきか考えたことがある生徒の割合は61.2%で国、県を下回りました。が、昨年と比べると割合が増えています。

鳥取県の課題に対するアイデアについては、指標を鳥取中央育英高校の地域探究事後アンケートに委ねています。中間期においては数値が出ていませんので、数値なしとしています。

次に生涯学習活動の推進で、生涯学習出前講座、中央公民館の利用者数、図書館来館者数は5月までコロナ禍であったことから前半は数値が伸び悩んでいます。期末の数値が出た段階での振り返りとなります。

子育て支援の充実です。

子育て支援施策に満足する人の割合は、令和7年の町民アンケートを予定しているのものでそれまでは数値が出ません。

妊婦面談については、中間期97%です。代理人による母子手帳の交付で、面談予定です。

次に、子育てと仕事の両立支援ですが、こども園と放課後児童クラブともに、4月時点の待機児童はゼロです。

文化・芸術の振興です。

みらい伝承館は企画展を多く開催され、多数の来館者があります。

美術展の作品数は昨年並みになっていますが、昨年までがコロナ禍だったこともあり、出展者の高齢化が課題となっています。

スポーツの振興です。

スポーツクラブへの加入者数は減少しています。

また、スポーツ大会の参加者数も昨年の2分の1を下回るように見えますが、スポーツ大会が下半期に集中していることから、こちらは期末の数値待ちで

	<p>す。</p> <p>第3節 誰一人取り残さないまちづくり</p> <p>第1項、人権教育の推進です。</p> <p>人権を学ぶ会の参加者は中間時点で 10 自治会 150 人です。こちらも9月未時点の数値なので、期末の数値待ちとなります。</p> <p>推進協力員の要請は昨年同様に23人です。</p> <p>第2項、福祉の充実です。</p> <p>地域福祉の充実の部分は、福祉のアンケートやまちづくりアンケートで測るもので、今年も調査していませんので、調査なし です。</p> <p>高齢者福祉の充実の部分は、要介護認定率は若干の増です。いきいきサロンも昨年比で1自治会減になっており、自治会内の世話人の確保が課題です。</p> <p>障がい者福祉の充実の部分は、施設入所者数が若干の減少で施設から地域生活に移っていただくということです。緊急受け入れをする拠点は令和3年度に5か所増えて、既に令和12年度の目標達成です。</p> <p>福祉施設から一般就労に移行した人は中間期で0人です。</p> <p>次に、健康づくりの推進です。</p> <p>特定健診受診率は中間期なので割合は低いままです。</p> <p>週2回以上、30分以上の運動をする人の割合は、令和6年度の健康ほくえい計画作成の際に調査します。</p> <p>食生活改善推進員を組織している自治会が、1自治会増えました。</p> <p>男女共同参画社会の推進です。</p> <p>委員会・審議会における女性委員の割合は 40.4%で高い水準を維持しています。</p> <p>また、男女平等の町民アンケートは令和7年度に実施するため、現時点では数値なしです。</p> <p>3節までの説明を終わります。</p>
委員長	<p>第1節から第3節の説明が終わりました。意見や質問がある方は挙手をお願いします。</p>
委員	<p>有害鳥獣の防止柵で、実績と目標の単位が「件」と「地区」で違いますが、これは。</p> <p>それと商工会の加入社も、もともと何件あって、どれだけ増えるのかといったところも教えてください。</p> <p>あと、目標値が実績より下回るものがありますが、その理由も教えてください。</p>
事務局	<p>有害鳥獣の防止柵については修正します。現在取り組みをしているのは 曲地区の1地区です。</p> <p>商工会加入者数は令和元年に377社であったものが現在410社で、令和12</p>

	<p>年の380社を超えています。中間見直しの際に目標値を見直していきたいと思います。</p> <p>令和2年に策定した際の目標であり、達成できることは悪いことではないので、もっともっと増やせるよう推進したいと考えます。</p>
委員	<p>加入者数はわかりますが、もともと法人はどれくらいあるんですか？</p>
事務局	<p>今、数値を持ち合わせていないので後日お伝えします。</p>
委員	<p>鳥取県の課題に対するアイデアがある高校生の割合のところ、実際にどれだけ行動に移っているのかっていうことがあれば教えていただければ。</p>
事務局	<p>アンケート結果まででその先の行動に移ったかどうかまでは追跡できていません。</p>
委員	<p>アイデアがあるのはいいことなんですが、実際に何か行動に移してこそだと思うので。</p>
委員	<p>こども園の待機児童数で、待機児童は0人ですが、希望どおり入所できたかどうかと、放課後児童クラブの待機児童数0人について、定員どおりの児童が既に入っていて、さらに入所希望が増えた場合は入所できるのかを教えてください。</p>
事務局	<p>こども園については、希望どおりの園に入所できたのかどうかまでは持ち合わせていないので、後日お答えします。児童クラブについても、余力の有無を後日お答えします。</p>
委員長	<p>私からもいいですか。いきいきサロンの自治会数が減少しています。担い手も減少していることが課題だと思いますが、うまく回しているケースの事例があれば、他の自治会でも参考になると思うのですが。</p>
委員	<p>いきいきサロンは社会福祉協議会が町から委託を受けて実施しています。世話人さんは福祉推進員さんですとか、民生委員さんですとか、ボランティアを募ってされているところが多いです。</p> <p>小さい集落ほど世話が大変で、集落によっては参加者自身が世話人になってやっているところもあります。西高尾とかもそうです。</p> <p>世話人をつくるのではなくて、可能なところは自分たちで自主的なような形で実施されると、継続しやすいのではないかな、と思います。</p>
委員長	<p>そういったケースが情報としても共有されてくるといいと思います。</p>
委員	<p>いきいきサロンについては毎年1月か2月に、全自治会に説明会をしているので、そこで情報を得ていただくことができます。</p>
委員	<p>表中に、単位が年単位と累計とが記載していなくて解りにくいのがあります。</p>
事務局	<p>整理して記載していきます。</p>
委員	<p>この数字として出てきませんが、北栄町にはヤングケアラーやネグレクトの数</p>

	<p>値が出てくれば、と思います。この話をもとに繋げるのであれば、そういった数値も欲しいな、と。</p>
事務局	<p>今は中間ですが、来年になると中間見直しが入りますので、その時に意見をいただく場を設けますので、そこをお願いします。</p>
委員長	<p>ひと通り質疑をいただいたと思いますので、次に第4節から第6節の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>第4節 安全で持続可能なまちづくり 環境にやさしいまちづくりの推進です。 家庭用創エネ設備の設置件数は485件で、これは累計の数字になります。令和12年度に向けていいペースで増加しています。 公共施設の地域新電力契約率は95%です。鳥取みらい電力が営業開始したことにより、電気代を地域で循環させる取り組みが始まり、役場関係の電気をみらい電力に切り替えていくということが、この項目の目的です。 住宅省エネ改修戸数は1件増加の181件です。 1人当たりのゴミ排出量は昨年よりも若干減っていますが、目標までは更なる取り組みが求められます。 インフラの整備です。 上から、町道の改良、町道の舗装率向上ともに昨年度と大きな変化はありません。 公共交通に不満を持つ人の割合は令和7年の調査なので数値なしです。 排水管の耐震化は昨年同様に21.6%、計画的な排水管工事が行われています。 水洗化率は昨年と同水準ですが、未接続者へ接続勧奨(下水にするようお願いすること)を実施しています。 町営住宅の適正管理は六尾北団地の用途廃止、払い下げを行っています。 CATV の加入率はほぼ昨年並みです。セット割があるものの、テレビが必要ない世帯も増え、今未加入の人に加入していただくのは、なかなか難しいのが現状です。 安全なまちづくりの推進です。 自主防災組織の組織化は昨年同様 48組織のままです。 補助金活用による空き家撤去は3件、中間期までに実施しています。 防犯カメラも令和2年に1件増えて、新たな設置はしていません。</p> <p>第5節 人と人とのつながりを育むまちづくり 地域活動・まちづくりへの参加推進です。 地域活動助成の実施件数は5件で昨年を下回っています。地域の自立活性化支援事業に2団体と、コミュニティ助成事業に3自治会です。</p>

	<p>町民参加によるまちづくりに対する満足度は、調査を令和7年度に実施するため、数値なしです。</p> <p>役場からの情報についても、調査を令和7年度に実施します。交流の推進です。</p> <p>台湾台中市との交流はコロナの状況を踏まえて中止しました。湖南省との交流は、湖南省の夏祭りに参加しています。</p> <p>教育旅行の受け入れは、3年ぶりに再会しました。</p> <p>民泊事業者の増加は1事業者(北尾)が開業しました。</p> <p>移住定住の促進です。</p> <p>移住相談会は3回。オンライン相談も含めて実施しました。</p> <p>移住者は25人で、物価高騰により申請が減少しているようです。</p> <p>定住者数は中間時点で14人、175人/年から離れた数値になっています。</p> <p>第6節 健全な財政運営</p> <p>財政調整基金残高、いわゆる町の貯金は目標値を上回る金額で推移しています。</p> <p>起債残高、いわゆる町の借金は、計画的に減少しています。令和元年度の85.3%に減少した計算です。</p> <p>町税等の徴収率は、令和4年度実績は県内でもトップクラスの高い水準で今年度も維持しています。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
委員長	第4節から第6節の説明が終わりました。意見や質問がある方は挙手をお願いします。
委員	移住定住の促進で、相談会参加の質問です。令和4年にもありますが、相談会から移住までの流れがあれば教えてください。
事務局	一般的な流れですが、例えば北栄町にはお試し住宅があります。移住前にこちらで滞在していただき、地域を知っていただいたうえで転入を考えていただくことができます。もちろん他の方法もありますが一例としての紹介です。
委員	お試し住宅のことを言おうと思っていました。地域で暮らすイメージができることはいいことなので、僕からの意見です。
委員	お試し住宅は北栄町内に何か所あって、稼働率はどれくらいになっていますか？
事務局	お試し住宅は妻波に1戸、稼働率は後日お答えします。
委員	お試し住宅を今後増やす予定はありますか？
事務局	きいていませんし、先ほどの稼働率にもよりますが、今は考えていません。
委員	創エネ設備は1戸当たりの補助回数はありますか。

事務局	お調べして後日お答えします。
委員	自主防災組織は目標値が63組織ですが、これは最大値ですか。
事務局	はい、63自治会全てに組織して欲しいという思いが入っています。
委員	全体を通してですが、アンケートをこれからされるものの内容はどこで決められるのですか？
事務局	<p>要所要所で行うまちづくりアンケートは令和7年度の見直しの前に6年度に実施して、分析をして改正したいと思います。住民さんの意識もどのように変わってきたとか、推移もみたいところがあるので、がらっと項目を変えるというよりは新しい視点のものを追加していくというイメージでいます。最終的にはここで、皆さんで内容を協議することにはなりますが、事前に見ていただいて、北栄町が大きく変わるタイミングでもありますし、住民さんの意識を拾ってみたい、というものがあれば取り入れて実施したいと思います。</p> <p>それから6年度にアンケートを実施しようと思っているのは、これまでは町独自でやっていたんですけど、民間の大きいところが専門でアンケートを取られる、それから分析もされ、他の自治体と比較もされるところがあるので、委託をしようと思っています。</p>
委員	移住相談会のところで、お試し住宅に滞在されたかたはどれくらい滞在されたのですか？
事務局	滞在期間は、使用頻度と合わせて調べます。
委員	役場からの情報発信のところで、町は HP や YouTube など発信していると思うのですが、知らない人もいます。町はどうやって発信しているのかな？と気になりました。
事務局	<p>町民の人がどれだけ知っているのかということで、メディアに強い人は問題ないのですが、そうでない人にどうやって見ていただくか、知っていただくかについては課題感を持っています。</p> <p>町報は自治会に入っていようが、そうでなかろうが、全ての世帯に毎月配布されます。最近は QR コードも入れて、YouTube に飛ばすものもありますので、皆さんに平等に伝えるということになれば、町報に興味を持っていただくことが一番かな、と思います。</p> <p>どれだけ知っているかを測ることはアンケートになりますが、町としてはそこまで待つのではなくて各世帯に届くものを通じて知っていただくようにしています。</p>
委員長	<p>今のメディア発信のことで、フォロワーの人数などである程度分析すると、どの層に届いてどの層は届いていないといったことも分かると思います。そこで届いていない層に対してどうするかも見えてくると思います。</p> <p>それと、移住定住のところでお試し住宅のステップの紹介をいただきました</p>

	<p>が、県外移住と県内移住では補助が違います。住宅を探すために県内にワンクッション置いてしまったために県内扱いになってしまいました。</p> <p>いきなり住宅購入は難しいと思うので、3年なり県内の賃貸で考えて新築や購入した人も県外扱いにさせていただくようなことができる嬉しいな、という紹介でした。</p>
委員	お試し住宅って、何泊までって制限はありますか？
事務局	項目ではないので今持ち合わせていません。後日お答えします。
委員	先ほどの事例のように、中長期的に試してから移住というケースもあるでしょうし、北栄町にそういう場があればいいなと思ひまして。
委員	健康づくりの目標を63自治会になっていますが、自治会自体の存続が危うい自治会もあるかも知れません。これから出てくるかも。そういった取組はされていますか？
事務局	自治会同士の情報共有は自治会長会でされていますし、民生委員通じて情報交換もされていますが、自治会合併のようなものは北栄町では聞いたことはありません。子ども会の枠とかはありましたが、自治会としては未確認です。
委員長	ほくらボの取り組みが紹介されています。町民主体で重要な取り組みだと思ひますが、ほくらボで生まれたアイデアが今後どうなるのか、活かされているのかということをお教えいただけますか。
事務局	現状でいうと初年度の公民館建て替えのテーマでしたが、今年度調査や設計に当たって住民さんのアイデアを取り入れながら設計に当たっているのです、成果はあったのかなと思ひていますし、今年度のインフラのテーマについても、人手不足や高齢者問題で身近なところでもどうしようかといった内容だったけど、水路や道路のアイデアをだしていただき、可能なものは取り入れていこうと、前向きに考えているところです。
委員長	ありがとうございます。ほくらボの成果をこのように取り入れていきますとか、情報発信をしていただきますと、これから参加される人にアピールできると思ひますし、今まで参加された人も形になったことが伝わっていいと思ひます。
委員	役場からの情報発信で、分析によって使う人がわかれば発信の仕方が変わってくるということがありました。分析がしっかりできれば効果的な発信ができると思ひました。
事務局	<p>色々なツールがあって、使い分けはしています。ただ、それがどこまで届くかというところになると。例えば観光情報を町民さんに向けても意味がありませんし、女性、男性、若い人、年配の人によっても違います。</p> <p>今年、町の情報を、何から得ていますかというアンケートを取ることがあって、7割くらいの方が町報から得ているという結果でした。SNS から情報を得ている人が少なく、そこをどれだけ充実させるかということにもなるんですけど、</p>

	町民さん向けを考えると町報を充実して、そこから他のツールを知ってもらうことが重要なと思っています。
委員	ちょうどその分析をしていたので。ありがとうございます。
委員長	情報発信のところで聴いてみたいと思います。町報は読めますか？町のSNSを見ることはありますか？
委員	町報は読みます。SNSも時々。
委員	町報はまじまじと見たことはありません。HPも。あることを知らなかったのです。TCCです。
委員	ちなみにインスタグラムはどの層に向けて発信していますか？
事務局	どちらかというと観光情報として、考えています。町外の遠い方や海外ですね。
委員	200件くらいの投稿があって、フォロワーも2000件ちょっとでなかなかリーチができていないな、という印象ですけど町外の、ターゲットを絞るならもう少し力を入れて。SNS専門の人を入れる予定はないのですか。
事務局	検討の余地はありますが、今現在そこまで一生懸命 SNS を使ってというところまでは考えていません。
委員	あんまり目的が見えないなと思っています。 この SNS を見て興味を惹かれないので、事務的にされているならノウハウをもった人にやってもらった方がいいと思います。 今は町民も興味ないし、外の人も興味ないといった状況だと思いますので。
事務局	そこが入口になって興味を持っていただけるとしたら力を入れるべきだともおもいますが、今はまだ力を入れていないところなので今後考えたいところです。またご意見をお願いします。
委員	アンケートは委託事業者を頼んで分析してもらうんですね。それも含めて色々な意見が聴ければいいかなと思います。
事務局	アンケートに情報発信のあり方を盛り込んで、皆さんの意見を聴いてみるのはアリだと思います。
委員	情報発信も当然町民向けで、これからは災害にも重点を置きながら、一人一人に情報が伝わらないといけないので、検討してもらったと思います。
委員長	委員が言われたように、効果的に発信する必要があると思うので、例えば観光協会と重複するような内容なら観光協会に任せてみたり、それとは異なる役場からの情報は、必然性のあるターゲットに届くようなやり方で。限られたリソースを使うというようなことは検討をお願いします。 あと、町報が結構な存在感を持っているので、更に活用いただけるような、発展の可能性のあるように感じました。
委員	お試し住宅の話が出ていました。どこか忘れましたがお試し移住のような取り組みもあります。子どもたちも保育所に入って育児もお試しで、みたいな取り

	組みです。北栄町もされてみては、と思いました。
事務局	今は中間点検ということで、これから見直しに向けてのアイデアや意見も出てくると思っていますので、たくさんの視点で見ていただくとともに、今日の意見を各課に返して対応していきたいと思います。よろしくお願いします。
委員長	それでは全体を通してどこの基本施策や、具体的施策が遅れているとか、どこに力を！といったご意見はありますか？ と、皆様のご意見をいただきたいので、ご発言をされていない方からもお願いします。
委員	食生活について、全自治会が目標になっていますが、2年に1度、養成講座を受けないといけないのですが、そのチラシもスルーされてしまい、なかなか増えません。チラシ作成を町が協力していただくことはできますか？
事務局	担当課に伝えます。
委員長	北栄町は最近、関係人口の関連で専門人材の関わりも増やされているので、そうしたところの力も借りながら「困りごと」解決に繋げて頂ければと思います。
委員	食生活だけでなく、交通安全指導員なども人材が足りないところもあるので、同時に発信していただければいいと思います。 役場も取り組みをしていますが、この資料だけ見てもわからず、その経緯も知りたいです。
事務局	これはほんの一部で、ビジョンの達成度を見るために、指標の一つとして設けられているだけです。これから、この目標でいいのか、といったことも議論になるので、またそういった準備もしていきますので、またよろしくお願いします。
委員	先ほど資料の話がありましたが、案内に QR コードがついていて、データを見ながら確認させていただきました。冊子が送られてきても大変なので、こういうことかと活用できました。
委員	公民館で、高齢者の方が聞かれるのが「ホームページって何？」「町放送で言ったけど、パソコンはない。スマホはあるけど扱い方がわからん」ということで、大多数が。町報を読んでも意味がわからないということもあるので、もう少しそのあたりを考えていただければと思います。 この資料も中間発表ですが、大きく下回っているものもあるので、見直しても。
委員	町報を読んでいると言いましたが、解りにくいと思います。
委員長	役場からの情報発信に課題があるということですね。 では時間も押してきましたので協議事項(2)を終えたいと思います。次に(3その他)です。
その他	

事務局	<p>先ほども少し触れましたが今後の予定です。</p> <p>3月末で期末の数値が確定します。6月ぐらいの予定かな？と思いますが、期末の点検に係る会を開きます。併せて「アンケート」についても、令和7年度の間点検に向けて、情報を得るために令和6年度にアンケートを実施します。</p> <p>皆さんには前回のアンケートの内容も含め、新しい項目も見てください。進めたいと思います。</p>
委員長	<p>ほかになれば、以上で令和5年度の間期検討委員会を閉じたいと思います。</p> <p>皆さん、ありがとうございました。</p>